

保護者 様

大阪府立枚方支援学校

校長 西村 誠三

准校長 村上 哲也

令和 5 年度 学校教育自己診断の結果と分析（報告）

日ごろより、本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

この度は、学校教育自己診断の実施にあたり、二度にわたりご協力をいただきありがとうございました。保護者のみなさまからは 43%、児童生徒のみなさまからは 34%のご回答をいただきました。

今回は、分析により浮かび上がってきた成果と今後必要となる取り組みについて報告させていただきます。今回の結果をもとに、本校教育活動の一層の充実に努めてまいります。今後とも本校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

※なお、全てのアンケート結果につきましては、本校ホームページに掲載いたしますのでご覧ください。

【アンケート分析結果より浮かび上がってきた成果と課題】

成果 1：1 人 1 台端末の活用の推進

成果 2：人権意識の更なる向上

課題 1：1 人 1 台端末を活用した学びの推進

課題 2：高い人権意識の維持

新規項目 1：食育に関する内容

新規項目 2：「第 2 次大阪府教育振興基本計画 前期事業計画」で示され、府内児童生徒全員に対して実施される項目

【成果 1：1 人 1 台端末の活用の推進】に関連する項目

※カッコ内の数値は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」と回答した割合

児童生徒 Q13 先生は、パソコンや iPad を使って授業をしていますか。（小：56%、中：80%、高：71%、全体：68%）

保護者 Q22 学校は、オンライン学習の環境を準備・周知している。（小：94%、中：82%、高：84%、全体：88%）

教職員 Q28 わたしは授業などで児童生徒 1 人ひとりの実態に応じて、端末に触れる・活用する機会を提供している。

（小：63%、中：85%、高：76%、全体：74%）

《要因》

iPad やパソコン等の機器の使用については、児童生徒の肯定的な回答の割合が、昨年度に比べて増加しました。しかし、小学部においては、中学部、高等部に比べて、児童生徒、教職員とも肯定的な回答の割合が低い結果となりました。これは、小学部においては、具体物を使った学習や人との直接的な関わりの中での学びを大切にしていることが要因の一つと考えられます。児童に対してどのように端末を活用できるか、検討を進めたいと思います。一方、学年・学級閉鎖時等において、学校が行っているオンライン学習について、保護者の質問項目で「よくあてはまる」といった高評価の割合が、全ての学部で 80%以上、特に小学部においては 90%を超えていました。このことから、保護者の皆さまより一定の理解を得ていることがわかりました。

【成果2：人権意識の更なる向上】に関連する項目

※カッコ内の数値は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」と回答した割合

児童生徒 Q8 (小) 先生は、やさしい言葉で話をしてくれますか。(中・高) 先生は、ていねいな言葉遣いで話してくれますか。

(小：80%、中：89%、高：90%、全体：85%)

保護者 Q13 教職員は、子どもの人権に配慮した言葉遣いや態度で指導を行っている。

(小：98%、中：95%、高：88%、全体：96%)

保護者 Q14 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば、真剣に対応している。

(小：97%、中：97%、高：88%、全体：95%)

教職員 Q13 わたしは、教育活動全般において、児童生徒の人権に配慮した言葉遣いや態度で指導を行っている。

(小：99%、中：100%、高：95%、全体：98%)

教職員 Q14 本校は、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。

(小：77%、中：79%、高：88%、全体：80%)

《要因》

言葉遣いについては、児童生徒、保護者の皆さまへの質問において、肯定的な回答の割合が、昨年度に比べて増加しました。今後も自分たちの言葉遣いについて常に振り返り、改善する姿勢を持って日々の指導・支援に臨みたいと考えています。また、いじめへの対応についても、保護者質問において肯定的な回答の割合が昨年度に比べて増加しました。いじめへの対応方針については、教職員全体で共有し、いじめの疑いのある事象が起こった際には「いじめ防止対策検討委員会」を開いて対応を検討しています。今後もいじめに対する意識を高く持ち、これらの対応を継続していきます。

【課題1：1人1台端末を活用した学びの推進】

昨年度に比べ、授業等において児童生徒が端末に触れる機会を多く設定することができました。しかし、まだ十分でない現状があることから、今後は、活用事例の共有等、学校全体で具体的な方法を検討していきたいと考えています。また、学校としてどのようなオンライン学習を提供できるのか、端末を活用してどのような学びの支援ができるのか、新たな方法を検討していきたいと考えています。

【課題2：高い人権意識の維持】

今年度、言葉遣いについての教職員の意識が高まり、児童生徒、保護者の皆さまから肯定的な回答をいただくことができました。今後も、教職員一人ひとりが自らの言葉遣いについて常に振り返り、互いに指摘し合う姿勢を持って日々の指導・支援に臨みたいと考えています。

また、いじめへの対応についても、常に意識を高く持ち、疑いのある事象が生じた際には迅速に対応できる体制を整え、安全・安心な学校を築いていきます。

【新規項目1：食育に関する内容】

給食を苦手と感じている児童生徒への対応も引き続き進めていきます。

【新規項目2：「第2次大阪府教育振興基本計画 前期事業計画」に関する内容】

児童生徒が、「様々な物事に興味・関心、好奇心を持ち、チャレンジしていく姿勢、互いを認め合い評価することができる心、主体的に人や社会の役に立とする精神、時代の変化を乗り越えて、将来をいきぬく力を身に着けることができるよう」(大阪府到達目標より)に取り組んでいきたいと思います。